

平成 30 年 5 月 1 日

社会貢献活動

(1) 地域プロジェクト活動による社会貢献

本学部では平成 21(2009)年より AL の一つであるプロジェクト型学習を地域分野に適応し、発表会を毎年開催してきた。平成 27(2015)年度より「アクティブ・ラーニング発表祭」と名称変更し、AL の活動の成果を広く共有する機会を提供してきた。平成 29(2017)年度は、55 件のプロジェクト活動を報告した。うち地域に関連したプロジェクトは 31 件であった。

(2) 志企業の会社案内プロジェクト 2017

株式会社弘久社、多摩信用金庫、富士ゼロックス株式会社の協力の下、多摩地域の企業と学生との相互交流を図っている。人材育成と地域活性化に資することを目的として、学生が地域の中小企業等にインタビュー調査を実施して、独自の会社案内を作成する「志企業の会社案内プロジェクト」を継続して実施している。平成 29(2017)年度は 9 企業・団体を対象として実施した。

(3) 大いなる多摩学会

理事会、定期総会を開催した。会場を多摩地域のシンボリックな高幡不動尊金剛寺とし、総会では寺島実郎学長の基調講演の後、①「健康まちづくり産業」、②「創業支援プラットフォーム」、③「湘南藤沢におけるインバウンド」、④「ビッグデータ活用による“大いなる多摩”創生」の 4 プロジェクトの報告が行われた。

(4) 地域連携の拠点施設の整備

- ① 「T-Studio」での公開講座
- ② 「多摩学資料室」および図書館「多摩学コーナー」
- ③ 図書館等施設の地域への開放

(5) 社会教育講座の開催

① 「関戸地球大学院」の共催

多摩市教育委員会からの要請により、多摩市関戸公民館、大妻女子大学、恵泉女学園大学との共催で「関戸地球大学院」を開講している。春講座を平成 29 年 6 月 2 日から 7 月 7 日まで 6 回に渡り開催し、本学からは 2 人の専任教員が研究成果を地域住民に還元した(6 月 9 日、6 月 30 日)。

② 八王子市主催「八王子市学園都市大学いちよう塾」

専任教員 2 人が、3 プログラム、のべ 10 回の講座を担当した。

③ 「若い力と市民団体の連携を考えるシンポジウム」

(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センター・東京 TAMA タウン誌会共催のシンポジウムで、専任教員 1 人が本学の産学公民連携活動の紹介と、ゼミ活動である、みんなの食卓プロジェクト・お米(気持ち)持ち寄る多世代交流について講演を行なった。

(6) 多摩大学オムニバス講座

ビジネススクウェア多摩主催、多摩大学地域活性化マネジメントセンター協力による、多摩大学オムニバス講座「小さいからこそできる経営学」を開催し、5 人の専任教員が講座を担当した。

(7) 世代間交流健康トレーニング

正課である「スポーツⅡ」において、学生と地域の住民がともに学びあう「世代間交流健康トレーニング」を開講した。このプログラムを通じて、身体、社会との関係性において自らの健康を高め、家族や地域の健康を高める力をつけ、活かすことを目的として地域貢献した。

(8) 地域団体との交流による問題解決

連光寺・聖ヶ丘地域福祉推進委員会に参画し、近隣地域の課題、ニーズ等を吸い上げ、特に防災面での連携継続のニーズが高いことを確認した。